

2023年2月28日
商工中金

物流の2024年問題に取り組む、株式会社大和通商様を ポジティブ・インパクト・ファイナンスにてサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（名古屋支店）は、株式会社大和通商（本社：愛知県小牧市、代表者：渡邊 幸男様）に対し、サステナブル経営に必要な資金2億5,000万円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、全国に18拠点を持つ一般貨物運送及び倉庫業者です。食品から建築資材、工業製品まで、幅広い貨物を全国で輸送しています。物流業界の2024年問題に積極的に対応しており、トラックドライバーの長時間労働の改善や労務負担を軽減するため、中継輸送センターの設置およびスワップボディーコンテナ車両の導入を進めています。

今回、同社は、働きやすい職場環境の整備やCO2排出量の削減等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。サステナブル経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社大和通商様の概要】

所在地	愛知県小牧市大字南外山117番地
代表者	渡邊 幸男 様
業種	一般貨物自動車運送業、倉庫業
資本金	1,000万円
従業員数	310名（2023年1月時点）
設立	1987年5月

【2023年1月26日竣工の春日井物流センター】



(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

社会全体のサステナビリティ向上 (環境・社会・経済)



- お客さまの経営支援
- 持続可能な社会実現への貢献

- サステナビリティ経営の強化・企業価値向上
- ステークホルダー（仕入/販売先・従業員・地域関係者等）との共感・関係強化